市議会だより

No.102

6月定例会概要

6月定例会は、6月6日から24日までの19日間の日程で開会しました。

今定例会では市長から令和4年度補正予算、令和3年度補正予算専決処分の承認や条例の一部改正など24件の議案が提出されました。

また、請願については2件の提出がありました。

最終日の本会議においては、各常任委員長から、付託された議案および請願の審査報告が行われ、採決の結果、すべて可決・承認されました。

請願について、**「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める請願**は採択、**少人数学級推進と教育予算の増額を求める請願**については趣旨採択となりました。

なお、総務文教常任委員会から**「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書」**が提出され、採決の結果、全員一致で可決されました。

◆ 令和４年６月定例会で審議された議案等 ◆

【補正予算案５件】
- ◆令和３年度飯山市一般会計補正予算　２件
- ◆令和３年度特別会計補正予算　３件

【条例案３件】
- ◆飯山市議会議員及び飯山市長の選挙における選挙運動用ポスターの作成の公費負担に関する条例等の一部を改正する条例
- ◆飯山市北陸新幹線飯山駅周辺地区における商業施設等の立地の促進に関する条例及び飯山市宿泊施設活用促進条例の一部を改正する条例
- ◆飯山市北陸新幹線飯山駅周辺地区における商業施設等の立地の促進に関する条例及び飯山市宿泊施設活用促進条例の一部を改正する条例

【事件案 16 件】
- ◆財産取得について
- ◆権利の放棄について
- ◆専決処分事項の承認を求めることについて【令和３年度飯山市一般会計補正予算・各特別会計補正予算・水道事業会計補正予算】　計 12 件
- ◆専決処分事項の承認を求めることについて【令和４年度飯山市一般会計補正予算】
- ◆専決処分事項の承認を求めることについて【飯山市税条例等の一部を改正する条例】

【他　報告７件】

【請願２件】
- ◆「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める請願
- ◆少人数学級推進と教育予算の増額を求める請願

【意見書１件】
- ◆義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書

☎ 0269-67-0748（直通）
FAX 0269-62-0005

賛否が分かれた議案等の表決結果

＊「長」は委員長のため委員会での表決権はありません。
＊「ー」は別委員会のため表決権はありません。

○＝賛成　●＝反対

議案番号	議案等名	会派名・議員名	政新会 吉越利明	政新会 水野正彦	政新会 岸田眞紀	政新会 西澤一彦	政新会 山﨑一郎	明日の飯山 飯田健一	明日の飯山 松本淳一	日本共産党 渡辺美智子	日本共産党 小林喜美治	絆 高山恒夫	絆 石田克男	絆 上松永林	緑新会 佐藤正夫	緑新会 久保田幸治	議決結果
75	専決処分事項の承認を求めることについて【飯山市税条例等の一部を改正する条例】	委員会	長	○	ー	ー	ー	ー	○	ー	●	○	○	ー	○	ー	承認
		本会議	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	承認

常任委員会議案審査

委員からの主な質問および意見と市からの説明について抜粋して掲載します。

予算決算常任委員会

議案第54号
令和４年度飯山市一般会計補正予算（第３号）

予算決算常任委員会審査の様子

◎農林課

問【農林関連施設管理事業】今冬の雪害による、富倉ふるさとセンター復旧工事については、600万円ほどの被害であったようだが、保険からはどの程度の補填見込みであるか。

答　市の加入している共済では、金額は確定ではないが、半分程度ではないかと見込んでいる。

◎商工観光課

問【観光施設整備事業】道の駅に配置する予定の配膳ロボットについては、いい試みだと思うが、ランニングコストはどうか。また、今後保守点検等の費用についても検討しておくべきと思うがどうか。

答　配膳ロボットについては、購入を予定しておりランニングでは通信費がかかる程度である。

◎移住定住推進課

問【住宅屋根克雪化事業】住宅、物置と両方申請した場合は、別々に補助を受けられることでよいか。

答　住宅で１回、物置で１回と考えている。

問【定住支援事業】補助金額については飯山市に移住される人と、従前から飯山市に住んでいる人との差が大きいようだが、同額でよいと思うがどうか。

答　ご意見を聞きながら、研究し充実を図ってまいりたい。

◎スポーツ推進室

問【体育施設整備事業】ジャンプ台の修繕について、夏に使えるように早めの工事が必要と思うが、破損の状況はどうなのか。

答　スモールヒル、ノーマルヒルの転倒防止板が大雪により破損した。修繕のためにジャンプ台へ電源供給をする電柱が折れ、通電の確認に5月末まで要している。転倒防止板の修繕に1か月程度かかるが、電気設備は未定であり、時間がかかる見込みである。

議案第63号
専決処分事項の承認を求めることについて【令和３年度飯山市一般会計補正予算（第15号）】

◎子ども育成課

問【中学校部活動支援事業】現在の部活動の指導員は何名か。教員が忙しいようだがこれからの予定はどうなっているか。

答　各中学校３名の部活動指導員がおり協力していただいている。各団体等と部活動のサポート体制について研究していく。

◎庶務課

問【公用車集中管理事業】ＥＶ車の購入はいつ頃の予定をしているのか。

答　環境基本計画のポテンシャル

常任委員会議案審査

委員から出された主な質問および意見と、市からの説明について抜粋して掲載します。

調査、実行計画を作成する中で今後検討していきたい。

問　EV車は長距離の移動が難しいので、導入については十分な検討が必要に思うがどうか。

答　近距離の利用の業務もあるため、ご意見を参考に用途にあった公用車の導入を検討したい。

◎市民環境課

問【マイナンバーカード交付事業】国では登録者の多い順に地方交付税に差をつけると言っているが、飯山市の交付状況はどうか。

答　飯山市の交付率は40パーセントであり、県下で第4位となっている。これまでの取組みとしてはワクチン接種会場でもPRに取組んできた。県の取組状況の例も参考にしながら、今後も効果的な交付率の向上に努めたい。

◎保健福祉課

問【健康増進事業】i-カード等ポイント購入費とは何か。周知はどのようにしているのか。

答　市の各種検診等を受けることでポイントを獲得し、100ポイント貯まるとi-カードの500円分の商品券を進呈する健康ポイント事業を令和3年度から開始した。昨年度は新しい事業のため参加者が少なかった。周知は広報等で行っているが、今年度はより広く周知を図り、市民の健康増進につなげたい。

総務文教常任委員会

経営状況に関する説明書
○株式会社テレビ飯山

問　インターネット加入者数が昨年から増えているが、増えた要因はなにか。

答　インターネットの価格が安いということが考えられる。価格を改定してから契約数が伸び始めており、昨年、一昨年のインターネットのキャンペーンをしたことでだいぶ増えてきている。

問　もう少し広報すればもっと増えると思うがどうか。

答　今年は開局20周年であるので20周年記念に絡め、加入を増やすイベントをしたいと考えている。

産業民生常任委員会

議案第61号　財産取得について

問　ロータリー除雪車の車種の選定理由は。

答　除雪道路幅と積雪量による必要となる馬力により選定をした。

問　今までその除雪路線で使用していたロータリー除雪車はどうする予定か。また、除雪車両は高額である。古くなった車両はどう処分をしているか。

答　他の除雪路線へ配置換え等を予定している。古くなった除雪車両は市の施設内除雪用にするなど使えなくなるまで使用し、最終的には下取りしてもらっている。

永年在職表彰

全国市議会議長会定期総会・北信越市議会議長会での永年在職表彰において、議員15年以上在職の上松永林議員が表彰されました。

6月6日の市議会定例会招集日に渋川議長から表彰状の伝達を行いました

◆◇飯山市議会本会議の動画を配信しています◇◆

☆　受信方法
○飯山市議会ホームページ　本会議動画配信ページ
○ YouTube「飯山市議会」チャンネル

こちらの QR コードから

チャンネル登録お願いします！

総務文教常任委員会管内視察

小菅神社護摩堂と国体カヌー予定会場の北竜湖視察

◎護摩堂は今から272年前の、寛延3年に建立されたと伝えられる県宝ですが、老朽化によって建物の傾斜や梁等が損傷しておりましたが、昨年度修復工事が終了したことから、去る6月21日に視察しました。現場では修復箇所の説明と護摩堂の歴史について小菅神社小林氏子総代さんより説明いただきました。

修復された護摩堂内の様子

◎北竜湖は2028年ながの国体カヌー競技の開催が予定されていることから現地視察を実施しました。大会開催が、千曲川と連携した新たな観光振興につながることも期待されます。現在「飯山市カヌークラブ・スポーツ少年団（団員21名）」が発足しました。

国体カヌー競技の開催が予定されている北竜湖

産業民生常任委員会管内視察

千曲川カヌーポート整備現場と道の駅拡張工事進捗状況視察

親水護岸（カヌーポート）整備工事現場

◎千曲川のカヌーポートは、国・県と北信5市町で構成する「かわまちづくり推進協議会」で進めている親水護岸整備事業で、6月21日現地において工事関係者から説明を受けました。親子で千曲川に親しめると同時に、環境の大切さも学べる施設になるとのことでした。また、増水時の対策も図られている説明もありました。

道の駅建設工事現場

◎道の駅拡張整備は、今年10月の完成を目指す期待の大きな事業ですが、現在進められている、鉄骨組み立て作業も順調に進められています。

また、入居予定店舗の「Cafe里わ」において導入予定の配膳ロボットの実証試験を視察し、お客様の注文の品を店内の複数のテーブルに配膳する状況から、スタッフの作業が軽減される様子を受け止めることが出来ました。